

みずほCustomer Desk Report 2020/06/04 号(As of 2020/06/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

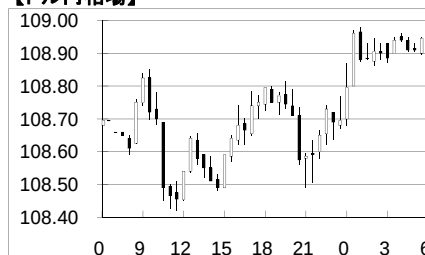
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.71 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.83	1.1184	121.70	1.2579	0.69150
SYD-NY High	108.98	1.1258	122.62	1.2615	0.69820
SYD-NY Low	108.42	1.1167	121.27	1.2548	0.68570
NY 5:00 PM	108.91	1.1234	122.37	1.2571	0.69185
NY DOW	26,269.89	527.24	日本2年債	-0.170	0.00bp
NASDAQ	9,682.91	74.54	日本10年債	0.010	1.00bp
S&P	3,122.87	42.05	米国2年債	0.19	2.57bp
日経平均	22,613.76	288.15	米国5年債	0.36	4.20bp
TOPIX	1,599.08	11.40	米国10年債	0.75	5.90bp
シカゴ日経先物	22,925.00	270.00	独10年債	-0.3565	5.95bp
ロンドンFT	6,382.41	162.27	英10年債	0.2720	5.20bp
DAX	12,487.36	466.08	豪10年債	0.9750	7.00bp
ハンセン指数	24,325.62	329.68	USDJPY 1M Vol	5.78	0.03%
上海総合	2,923.37	1.97	USDJPY 3M Vol	5.95	▲0.05%
NY金	1,704.80	▲29.20	USDJPY 6M Vol	6.63	▲0.01%
WTI	37.29	0.48	USDJPY 1M 25RR	-0.86	Yen Call Over
CRB指数	135.01	0.89	EURJPY 3M Vol	7.55	0.10%
ドルインデックス	97.28	▲0.40	EURJPY 6M Vol	7.93	▲0.03%

【昨日の指標等】

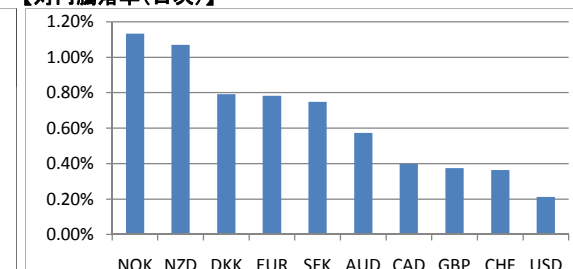
Date	Time	Event	結果	予想
6月3日	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	4月 -2%/-4.5%	-1.8%/-4.2%
	18:00	欧 失業率	4月 7.3%	8.2%
	21:15	米 ADP雇用統計	5月 -2760k	-9000k
	23:00	米 ISM非製造業指数	5月 45.4	44.4

Date	Time	Event	予想	前回
6月4日	18:00	欧 小売売上高(前月比)	4月 -15.0%	-11.2%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	4-Jun 0.0%	0.0%
	20:45	欧 ECB預金ファシリティレート	4-Jun -0.5%	-0.5%
	21:30	米 貿易収支	4月 -\$49.2b	-\$44.4b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	30-May 1843k	2123k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 金融市場が实体经济の手を引っ張る形

やっと動き始めたドル円相場。一昨日から相応の値幅が出た背景には108.10手前で何度も上値を叩き返されたことで、マーケットが上昇エネルギーを蓄えていたからだろう。新型コロナウイルスへの警戒から既に機関投資家のヘッジ比率が高まっている中、多少のリスクオフ材料が出てこれ以上ドル円を売ることも難しかったのであろう。またショートポジションが溜まっていたことも、節目を抜けた時に走った理由であろう。昨日もアジア時間こそは売りも幾分入ったものの、底堅さが確認できた一日であった。緊急事態宣言も解除され、本格的に投資家が動き始める。Withコロナ。上昇への期待や思惑が錯綜する中、下落局面ではヘッジ比率の調整からドル円の買戻しの動きも相応に出てくるか。ドル円のチャートに目をやると一目均衡の雲の中を推移していた水準から、雲の上限(108円台前半)をしっかりと抜け、足許水準を推移している89日移動平均や200日移動平均も大きく超えて、109円の節目が目前に迫っている。5月のG W後から足固めをしながら上昇トレンドとなっている形だ。次のターゲットは節目の109円だが、これも時間の問題であろう。

ただ、足許株式相場と实体经济の間で乖離が生じているとの声も聞こえる。特に今週は米国での白人警官の暴行による黒人死亡事件を巡る連日の抗議デモについて市場参加者はどう受け止めるのか関心が集まっていたが、ダウ平均は続伸。デモの影響は限定的と見ているも、少し市場は過熱気味に見えるとのことだが、金融市場が实体经济の手を引っ張ることがあっていいのではないだろうか。楽観的と言われたら、それで申しまいだが、経済回復にはそういった考えも必要なのではなかろうか。(大庭)

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	フル	フル	ベア	フル	ベア	ベア	フル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷諒
ベア	フル	ベア	フル	フル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

フル	ベア
7	13

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。